

能登北部構想区域  
区域対応方針（案）

令和7年 ○月 策定

## 【1. 構想区域のグランドデザイン】

2040年にむけて医療需要の減少と医療従事者不足が予想される能登北部医療圏において、医療提供体制の維持・強化を図るため、公立4病院の将来的な集約も含め、機能分化・連携を進める。

## 【2. 現状と課題】

### ① 構想区域の現状及び課題（課題が生じている背景等を記載）

- ・能登北部医療圏は半島先端に位置し、広大な面積を有する中、高齢者も含めて人口減少が進んでおり、令和7年1月時点で約50,500人となっている。
- ・能登北部医療圏内の2市2町それぞれが救急医療を担う公立病院を運営しているが、将来、医療従事者不足により各病院単独での医療機能の維持が困難との意見があった。
- ・令和6年1月1日に発生した能登半島地震やその後の豪雨災害により、複数の介護施設が廃止され、退院先が減るとともに広域避難により医療需要が急激に減少するなど医療・介護を取り巻く状況が大きく変化した。
- ・地震後の協議の中で、4病院を再編・統合し、新病院を建設することの必要性について2市2町の意見は一致した。

### ② 構想区域の年度目標（医政地発0331第1号令和5年3月31日付厚生労働省医政局地域医療計画課長通知「地域医療構想の進め方について」）

地域医療構想調整会議で合意した対応方針の策定率：100%

### ③ これまでの地域医療構想の取組について

- ・地域医療介護総合確保基金を活用し、地域で不足する回復期機能への転換のための施設・設備整備や医師住宅の整備などを支援。
- ・救急搬送体制について、平成30年度からドクターヘリの運行を開始し、区域を越えて高度急性期機能を補完。
- ・令和4年度から医療圏内の公立4病院の関係者による協議を開始。
- ・令和6年度から「奥能登公立4病院機能強化検討会」を設置し、能登半島地震からの復旧と4病院の機能集約も含めた医療提供体制の維持・強化に向けた協議を開始。

### ④ 地域医療構想の進捗状況の検証方法（地域医療構想調整会議の進め方やデータ分析方法等）

- ・地域医療構想調整会議を年2回程度開催し、病床機能報告の結果を共有するとともに、地域で不足する機能等を検討。

### ⑤ 地域の医療機関、患者、住民等に対する周知方法（地域医療構想に係る取組内容、進捗状況の検証結果等）

地域医療構想調整会議をオンラインで開催し、地域の医療機関に視聴を呼び掛けるとともに、会議資料・議事概要を県ホームページ上で公開している。

⑥各時点の機能別病床数

	2015年 病床数	2023年度 病床機能報告 (A)	2025年の 予定病床数 (B) ※	2025年 病床数の必要量 (C)	差引き (C) - (A)	差引き (C) - (B)
高度急性期	0	0	0	31	31	31
急性期	530	404	338	158	-246	-180
回復期	0	127	127	154	27	27
慢性期	261	36	36	108	72	72

※ 病床機能報告における「2025年7月1日時点における病床の整備の予定」として報告された病床数の合計又は各医療機関における対応方針の予定病床数の合計

【3. 今後の対応方針】 ※2を踏まえた具体的な方針について記載

① 構想区域における対応方針

- ・将来の医療需要を踏まえ、新病院に急性期・回復期の入院機能を集約し、断らない救急医療体制を構築
- ・サテライトは、診療所に転換し、地域住民・患者の医療アクセス（一般外来、巡回診療）を確保
- ・限られた医療資源を有効に活用するため、がんの手術、放射線治療や循環器病の手術など急性心筋梗塞や脳卒中の超急性期治療については、新病院は、他の医療圏の病院と連携して、提供
- ・各市町は、将来の介護需要を見据え（必要に応じて）、サテライトに介護施設等を併設
- ・新病院・サテライトは、介護施設等と連携し、要介護者等に対して、最先端の予防医療を提供
- ・大学病院等と連携プログラムを策定し、どのような病気でも幅広く診ることができ、救急医療に対応できる総合診療医等を育成
- ・その他、奥能登公立病院公立4病院機能強化検討会での合意状況を踏まえて見直しを行う

② 「①構想区域における対応方針」を達成するための取組

- ・奥能登公立4病院機能強化検討会での協議を継続し、国の伴走支援を受けながら、合意形成する上で必要なデータ分析などを行う。

③ 必要量との乖離に対する取組

- ・国の伴走支援を受けながら2040年に必要な病床数を算出した上で、公立4病院の将来的な集約も含め、機能分化・連携を進める。
- ・また、専門医療については能登中部医療圏、石川中央医療圏との連携強化を進める。

④ 3. ②及び③による取組の結果、想定される2025年の予定病床数

	2025年の 予定病床数 ( 時点)
高度急性期	0
急性期	338
回復期	127
慢性期	36

【4. 具体的な計画】 ※【3. 今後の対応方針】を踏まえた具体的な工程等について記載

	取組内容	到達目標
2024年度	奥能登公立4病院機能強化検討会を開催	<ul style="list-style-type: none"><li>・震災からの復旧について対応を検討</li><li>・将来の再編の方向性や人材育成のあり方、建設場所について4市町の合意形成</li></ul>
2025年度	奥能登公立4病院機能強化検討会を開催	<ul style="list-style-type: none"><li>・新病院の医療機能や運営主体について4市町の合意形成</li><li>・4市町が合意した内容をもとに「機能強化の方向性」として公表</li></ul>